

企業の農業参入は地域経済にどのような影響を与えるか  
—農業リース特区に着目して—

高山太輔\*

(明海大学経済学部)

中谷朋昭†

(北海道大学大学院農学研究院)

要旨

我が国の農業では、多様な農業経営体の確保、若者を中心とした新規就農の一層の推進が重要となっている。農業の担い手問題に対しては、多様な担い手の一部としての企業による農業参入が注目されている。そこで、本研究では、農業リース特区制度の活用により企業の農業参入があった市町村において、企業参入が地域農業にもたらした影響を明らかにした。具体的に政策効果の発現が期待される結果変数として、耕作放棄地率、経営耕地面積、農家数を取り上げ、農地利用と地域農業活性化の観点から特区制度による企業の農業参入の効果を測定した。

旧市区町村レベルのパネルデータを用いてパイプライン比較によりマッチングを行い DID 推定をしたところ、特区認定により企業の農業参入を受け入れた市町村では、耕作放棄地の増加を緩和する効果が観察され、農家数や農地の減少を緩和する効果も確認された。したがって、農業リース特区制度は、企業の農業参入を通して、農村地域の維持・活性化をもたらすという政策効果を有していると考えられる。

キーワード：農業リース特区、農業参入、DID推定、農地利用、地域農業

JEL Classification Codes: Q19, Q24, R11.

---

\* E-mail: takayama@meikai.ac.jp

† E-mail: naktom@agecon.agr.hokudai.ac.jp